

The Graduate School of
Osaka University of
Human Sciences

大阪人間科学大学
大学院 人間科学研究科 2018

公認心理師
(心理学専門職コース)

リカレント・研究
(心理学総合コース)



学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学
大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学 大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学 大学院では、人びとが心身の健康に向けた力を十分に発揮し、より良い人生を目指すことができるように、健康に関する科学研究とその成果を実践に活かすことができる専門家の育成を目的としています。

本大学院の特色は、心理学専門職の国家資格である公認心理師を目指す『**心理学専門職コース**』と、これまで培ってきた専門領域をより発展させるためのリカレント教育や心理学の学術的探求を行う『**心理学総合コース**』の2つのコースにあります。これらのコースによって、大学院生個人の成長のみならず社会全域の発展についても貢献しうる教育の充実化を図っています。

大学院 人間科学研究科

心理学専門職コース

臨床現場における
高度な知識と技術を持った
公認心理師を目指す

心理学総合コース

対人援助に関する
スキルアップや心理学における
研究者を目指す

Admission policy 本研究科が求める人物像

1. 心理学に関連する基礎知識と十分な基礎学力及び社会人基礎力をそなえている者。
2. 人びとの健康の回復、維持、そしてその増進に寄与する志向を持つ者。
3. 研究を実践に活用して社会に貢献する意欲を有している者。

心理学 専門職 コース



POINT

※公認心理師国家試験を受験するためには、卒業した大学において公認心理師受験資格取得に必要とされる学部科目を修めておく必要があります。必要な学部科目の履修状況については、卒業したあるいは卒業する大学に確認してください。

- 悩める人たちの支援を行う心理専門職である**公認心理師受験資格者**の養成を行うことを目的としたコースです。
- 心理カウンセリングの技法はもとより認知行動療法、応用行動分析、ストレスカウンセリング、解決志向アプローチなどセラピーに通じた心理学について幅広くそして深く学びます。
- 公認心理師受験資格に関心を持つ人をサポートする教育を行います。

公認心理師が活躍する領域は数多くあります。

- スクールカウンセラー ●病院の心理カウンセラー ●会社の心理相談員 ●児童相談所や福祉施設の心理職
- 家庭裁判所調査官 ●少年鑑別所や拘置所などの心理技官 ●警察の相談員 など

開講科目一覧（公認心理師受験資格取得に必要な科目）

※カリキュラムは変更になる場合があります。

心理実践科目

- 保健医療分野に関する理論と支援の展開 ●福祉分野に関する理論と支援の展開 ●教育分野に関する理論と支援の展開
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ●産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ●心理的アセスメントに関する理論と実践
- 心理支援に関する理論と実践 ●家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 ●心の健康教育に関する理論と実践

実習科目

- 心理実践実習

研究演習科目

- 人間科学研究演習Ⅰ ●人間科学研究演習Ⅱ

POINT

- 心理学、医療、教育などにおいて、心身の健康に関連する仕事に従事している人や、これから専門の業務に進もうとする人に対するリカレント教育の場を提供します。
- 大学で学んだ心理学や他の行動科学の研究を深めることもできます。
- 看護師、保健師、教員、その他人びとの健康に関連する現場において、対人援助のさらなるスキルアップを目指す人、心理学の研究を継続したい人への教育を行います。
- 修了後、**専門健康心理士**資格の取得が可能です。

修了後の進路

- 医療・保健・教育現場における看護師 ●公的施設における社会福祉職 ●企業におけるメンタルヘルス担当者
- コミュニティにおける相談業務職など高度な対人援助職 ●健康分野における研究者

開講科目一覧

※カリキュラムは変更になる場合があります。

概論科目

- 人間科学概論A ●人間科学概論B ●精神医療保健学概論 ●社会福祉学概論 ●実践行動療法概論 ●健康行動学概論

特論科目

- ストレス科学特論 ●臨床生理心理学特論 ●精神保健福祉学特論 ●メンタルヘルス特論

特殊講義科目

- 人間科学特殊講義I ●人間科学特殊講義II ●ウェルビーイング特殊講義I ●ウェルビーイング特殊講義II ●ウェルビーイング特殊講義III

演習科目

- 行動観察・分析法演習 ●多変量解析法演習 ●質的研究演習 ●生理心理学測定法演習 ●次世代育成支援演習
- 文献研究演習 ●ソーシャルリサーチ演習

実習科目

- 健康心理カウンセリング実習 ●健康心理アセスメント実習

研究演習科目

- 人間科学研究演習I ●人間科学研究演習II



心理学
総合
コース



豊かな人間性と高い専門知識の修得を。

大阪人間科学大学は建学の精神「敬・信・愛」のもと、「人間とは何か」を原点に、平成13(2001)年に2学科から成る人間科学部をもって開学しました。平成24(2012)年には、社会福祉学科、健康心理学科に、新たに医療福祉学科、子ども福祉学科(平成29年4月名称変更:現・子ども保育学科)、医療心理学科の3学科を設置し、さらに平成28(2016)年4月には理学療法学科を開設し、6学科体制のもと、対人援助分野で活躍できる専門職業人の育成に特化した、より魅力のある大学へと生まれ変わりました。

この学部を基盤に平成18(2006)年に開設されたのが大学院人間科学研究科です。本研究科では、個々の生命体が、より健康でより活力に満ちた良い状態(ウェルビーイング)を創出するにはどうすれば良いのか、を積極的に問いかけ、心理学及び周辺の諸科学を学際的に総合しつつ、新しい人間科学の展開を図ることを目的としています。

長期履修制度の導入や、平成30年度からの公認心理師の資格取得に向けたカリキュラムの編成において、研究科の方向性を更に明確化し、人間科学における科学的知見と臨床的実践力を通して人びとの心身における健康の回復、維持、及び増進に寄与しうる、心豊かな高度専門職業人の育成に努めています。

学長 田中 保和

長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有するなどの事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限(2年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。長期間でマイペースに学べ、無理せず仕事と大学院での学びが両立でき、じっくり時間をかけて学ぶことができます。

自分のペースで仕事と学習の両立を実現！

申請資格

- ・職業を有し、就業している者(正規雇用者に限らず、主として当該収入により生計を維持している者)で、著しく学習時間の制約を受ける者
- ・家事、育児、長期介護などにより、著しく学習時間の制約を受ける者

履修期間

3年又は4年のいずれか
(長期履修の開始時期は入学時点とし、学年の途中から開始することはできません。また、履修期間は延長できません。)

PROFESSIONAL'S VOICE

日上 耕司 教授

私たちは、ストレスにうまく対処できない時に、周囲からは理解しがたい行動をすることがあります。暴言や暴力、自傷や癇癪、抑うつ、怠惰、依存などといった行動です。こうした行動に対しては、たとえば粗暴な性格である、反抗的な性格である、こらえ性がない、自立心が育っていないなどと、個人の性格や能力がその原因であると見なされることがあります。私の専門である“応用行動分析学”では、このように行動上の問題の原因を個人の特性に求めることを“個人攻撃の罠”といって厳に戒めています。なぜなら、“罠”にはまると、そうした行動を改善するための有効な対処方法を見いだすことが困難になるからです。

本大学院で、行動の原因を周囲の人々や環境と当事者とののかかわりの中に見いだす見方と、行動改善のための対処方法を学び、現場で活躍できる公認心理師を目指しましょう。



千田 侑美 さん 平成29年4月入学

STUDENT'S VOICE

私は大学で教員免許を取得し、卒業後は小学校で働いていました。その時の自身の職場経験から「障がい児及びその家族」に対して心理的援助を行えるよう、カウンセリングについての専門性を高め、技術を身に付けたいと考えました。そんな時に「公認心理師」という心理職初の国家資格が誕生することを知り、資格取得を目指して本大学院への進学を決意しました。

大学院の講義は、入学するまで思い描いていたものとは良い意味で違っていました。講義形式のものだけでなく、プレゼンテーションやディスカッションなど、学生が主体的に参加し学ぶことができる機会が豊富にあります。そのため、考え方の幅が広がり、互いに刺激しあって意欲的に学ぶことができます。これも大学院の魅力の一つではないでしょうか。

今後、この大学院で学んだことを教育の現場で活かせるように頑張ります。

大学院指導教員紹介

石井 京子 教授 **看護師・保健師** **患者の心理** **レジリエンス**

専門は援助や医療を必要とする人のQOL(生活の質の向上)を看護学と心理学を統合して考える看護心理学です。最近、つらい出来事に出合った時に立ち上がるカー・レジリエンス(resilience)に注目し、患者のレジリエンスとそれを支援する看護師のケアやキャリアとの関係、先天性疾患児の親のレジリエンスなどを研究しています。

堤 俊彦 教授 **児童臨床心理学** **行動療法**

専門は児童臨床心理学です。主となる活動は、幼児から思春期までの子どもを対象とする発達臨床です。人生早期の幼児期、学童期に不適応に陥り、生きづらさを抱える子どもが増えています。その多くに発達障がいがありますが、障がいがだからと諦めるのではなく、不適応の原因は、物事を認識する力、あるいは人とかわる力、または両方の遅れであると捉え、認知面と行動面からのアプローチによる心理的支援を行っています。

日上 耕司 教授 **応用行動分析学** **発達障がい** **禁煙支援**

専門は応用行動分析学(ABA)で、発達障がい児(者)及びその家族や周辺の人々への支援が主な実践・研究のテーマです。が、ABAは単なる療育技法ではなく、独自の行動観に立脚する心理・行動科学の一領域である行動分析学の“応用領域”です。行動の原因は個体内にある“心(や意思)”ではなく、“心(や意思)”もまた行動であり、それらの原因は環境の側にあると捉える行動観に基づき、“個人攻撃の罠”に陥ることなく行動(心)のあらゆる問題の解決を目指します。

山本 孝子 教授 **カウンセリング心理学**

病理や問題ではなく個人の長所・強みに焦点を当てるカウンセリング心理学が専門です。様々な人生をマイクロカウンセリング技法(傾聴技法)を用いて聴き取り、語られたストーリーを「意味」を軸とした新たなストーリーに書き換えるアプローチ(ナラティブ・セラピーやロゴセラピーによる心理教育)の研究と臨床活動を行っています。

大野 太郎 教授 **ストレスマネジメント教育** **EAP** **産業カウンセリング**

ストレスマネジメントについて研究しています。ストレスは若者男女に共通するテーマですが、とりわけ学校教育と産業領域の精神衛生が主研究です。子どもたちへのストレスマネジメント教育や、働く人たちのストレス予防及びEAP(Employee Assistance Program、従業員支援プログラム)、産業カウンセリングの研究・実践を行ってきました。ストレスに強い子どもたち、ストレスを成長のチャンスにできる働く人たちの育成を目指す専門家になりましょう。

原田 正文 教授 **精神科医療** **児童・思春期**

児童・思春期が専門の精神科臨床医です。最近では心の健康づくりという観点から子育て支援にも力を注いでいます。

主な研究分野は、①児童・思春期の精神保健、学校精神保健、②子育て支援・次世代育成支援・子ども虐待防止、③医療社会学です。

宮脇 稔 教授 **心理師** **病院臨床**

医療関連領域における心理職を目指す大学院生への臨床実習や実践を指導しています。最終段階を迎えている心理職の国家資格創設では、一般財団法人・日本心理研修センター(<http://shinri-kenshu.jp/>)の理事として、心理職と大学院生などを対象にした研修を実施し、国家資格制度や試験制度の検討を進めています。

山崎 康一郎 准教授 **臨床心理学** **社会的養護** **障害児・者の心理と支援**

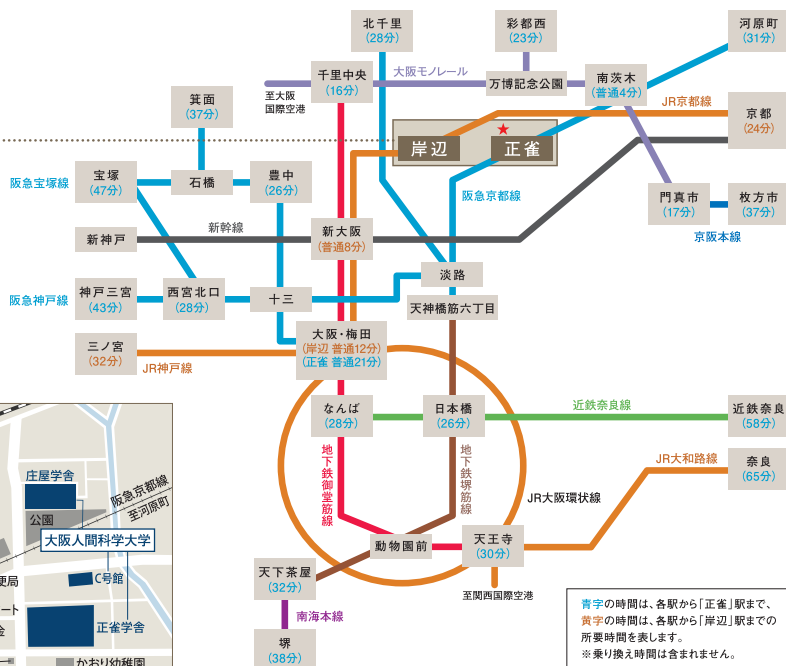
児童福祉・障がい福祉領域において、保育士、社会福祉士、臨床心理士として知的障がい児(者)へのケアに携わり、心理と福祉による支援に関する研究を行っています。

特に、①被虐待経験のある知的障がい児への社会的養護におけるケア、②非行・犯罪行為のあった知的障がい者への非行・犯罪から離脱した地域生活の支援、③障害児通所支援におけるケア、について支援実践の中からテーマを見つけ、福祉の向上に貢献できるよう研究を進めています。

ACCESS MAP

最寄り駅から大学まで

- 阪急京都線
「正雀」駅から徒歩5分
- JR京都線
「岸辺」駅から徒歩10分



成長に、本気。 大阪人間科学大学 大学院 人間科学研究科

人間科学専攻 修士課程(2年課程)〈心理学専門職コース・心理学総合コース〉

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6381-3000(代表) TEL.06-6318-2020(入試広報センター) <https://www.ohs.ac.jp/>

大阪人間科学大学 大学院 検索